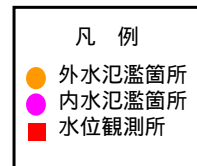
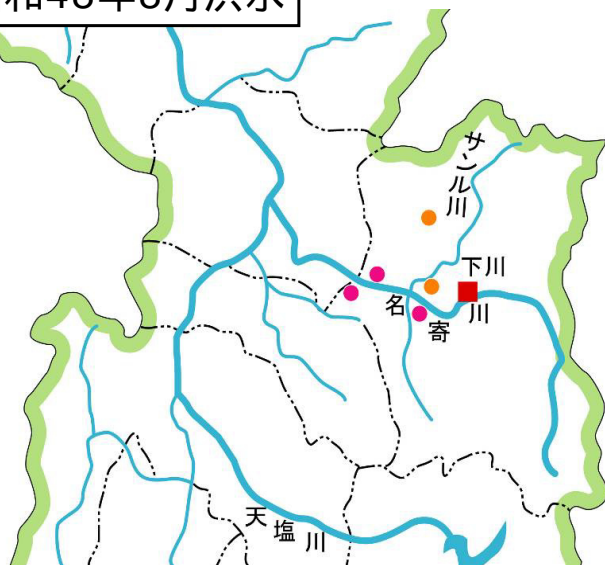


名寄川流域の氾濫について

名寄川において、昭和56年8月洪水は、昭和48年8月洪水に比べ、ピーク流量は小さいが、EL140m(堤内地盤高程度)以上の水位の継続時間を比較すると2倍程度も長い。このように、昭和56年8月洪水では、名寄川の支川においても同様に高い水位が長く継続し、内水による氾濫が広がったと推定される。



昭和48年8月洪水



昭和56年8月洪水

